



2024年1月11日

各位

会社名 株式会社 コックス
代表者名 代表取締役社長
兼デジタル推進本部長 三宅 英木
(コード番号：9876 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長 柳澤 愛
(TEL：03-5821-6070)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号：8267 東証プライム)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年2月期(2023年3月1日～2024年2月29日)の通期業績予想について、2023年7月12日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年2月期(2023年3月1日～2024年2月29日)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,900	585	625	360	13.03
今回修正予想 (B)	14,700 ～14,900	1,100 ～1,300	1,300 ～1,500	1,000 ～1,200	36.20 ～43.44
増減額 (B-A)	△200 ～0	515 ～715	675 ～875	640 ～840	—
増減率 (%)	△1.3 ～0.0	88.0 ～122.2	108.0 ～140.0	177.7 ～233.3	—
(ご参考)前期実績 (2023年2月期)	14,859	427	421	207	7.53

2. 修正の理由

前回予想を公表した2023年7月12日時点においては、当初想定した外部環境や天候不順等による業績への影響の不透明性をその時点では完全に排除できないことから、保守的な上方修正に留めて業績予想を公表致しました。

そのような想定のもと、第2四半期は、ikka店舗リニューアル推進の継続に加え、猛暑による夏物商品が売上を伸ばし、さらに正価販売を促進するために作り込んだ値頃商品も好調に推移いたしました。

第3四半期は、気温が高めの日が多く、9月、10月は売上が苦戦したものの、11月に入り秋冬物商品が活発的に動き始めたことにより利益面では前年同四半期を上回りました。

その結果、第3四半期累計期間での営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれについても前年同期対比で大幅な増益となり、前回公表の通期業績予想を上回る結果となったことから修正をいたします。

一方、第4四半期以降において、暖冬による業績への影響が例年以上に不透明であることから、経験則による予測が困難であり、修正予想値をレンジ形式で実施することといたしました。

以上から、前回公表時に比べ、売上面では暖冬影響を最大限見込む一方、利益面は想定以上の荒利率改善および為替差益計上に伴い上方修正を行うものです。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上